

五所川原市の決算

「財政」や「決算」という言葉を聞くと「なんとなく難しそう・・・」と感じていませんか？

そんな難しそうな決算を簡潔にご説明します！

令和4年度は
約16.8億円の
黒字決算！！

歳入

市税	52.7億円
負担金、使用料等	4.0億円
財産収入、繰入金	31.1億円
寄付金、諸収入等	14.9億円
繰越金	0.2億円
地方交付税、各種交付金	138.8億円
国庫支出金、県支出金	96.6億円
市債	14.9億円
合計	353.2億円

歳出

人件費	35.0億円
扶助費	88.8億円
公債費	47.2億円
物件費	43.2億円
維持補修費	11.8億円
普通建設事業費等	16.3億円
繰出金、補助費等	80.2億円
積立金	13.2億円
合計	335.7億円

*数値は令和4年度普通会計決算額

*黒字決算額は、歳入歳出の差額から翌年度に使うお金を差し引いた金額

【歳入】

歳入は、市税などの「自主財源」と地方交付税や交付金などの「依存財源」に分けられます。

五所川原市では、使い道が広い自主財源が少なく、依存財源に頼らざるを得ない状況になっています。また、令和4年度は前年度に比べ、新型コロナウイルス感染症関係交付金が減ったことなどにより、国庫支出金の金額が減少しています。

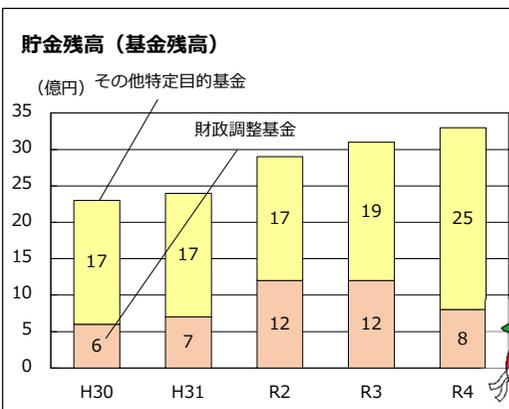
【歳出】

歳出のうち、人件費、扶助費、公債費の3つが義務的経費と呼ばれています。

令和4年度は前年度に比べ、扶助費や公債費が減少しています。しかし、物価高騰や原油価格高騰の影響により光熱水費等が含まれる物件費や金木中里消防統合同業に係る負担金が増額したことなどにより、補助費等が増加しています。

Q

市の貯金はどれくらいあるの？(H30~R4)



A

令和4年度末では、基金（市の貯金）残高は約33億円になりました。

【主な基金の使い道】

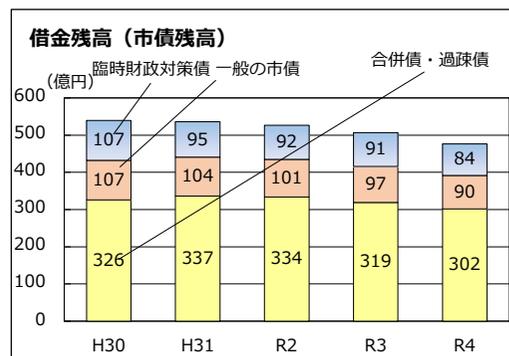
- 大雪に対応するための除排雪経費
- 突発的な災害発生に伴う災害復興費



基金は全体的に増加しているけれども、一般家庭での貯金にあたる財政調整基金は、昨年の大雨などにより前年度に比べ、減額しているよ。

Q

市の借金はどれくらいあるの？(H30~R4)



A

令和4年度末では、市債（市の借金）残高は約476億円になりました。

【主な市債の使い道】

- 公共施設の建設、改修工事
- 道路の改良や橋の架け替え工事



行政の借金は、今の市民だけでなく未来の市民にも負担してもらえるように、毎月の生活費ではなく住宅ローンのような将来にわたって使い続ける大きな費用のために使っているよ。

Q

総合的な財政状況は？



A

市の貯金は近年増加傾向にありますが、借金の残高は依然として高いままです。また、地方交付税や各種交付金といったいわゆる依存財源なしではやりくりが厳しい状況です。今後、人口減少などの影響により税収減も見込まれます。

このような状況を見据え、ふるさと納税などの新たな財源の確保や事業の効率化に尽力し、持続可能な財政運営を行います。

詳細は、市ホームページを確認してね！

財政課ホームページ

<https://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/zaisei.html>

